

小紳士小旅行記

091 同志社香里中学・高等学校旅鉄部

持っていた 1200 円くらいした紙が機械に吸い込まれて二度と出てこなくなった。次に別の紙切れを買い、しばらくの間、自分一人で二両しかない電車で揺られることにした。座ったのと反対側の車窓を眺めていると車両の頭上を新幹線の高架がかすめたのが分かった。JR に乗っている間に昼食を済ませたので寝ることにした。

目が覚めた。スマホを見ると 30 分ほど寝ていたようだ。窓を見ると、先ほど交差した新幹線が並走する形で走っていた。驚異的な本数がこの電車を追い抜き、走り去っていく。

「まもなく、高槻、高槻です」

持っていた 2000 円くらいした紙が機械に吸い込まれて二度と出てこなくなった。使った金額は高くついてしまったが小旅行としては充分だった。今度は新幹線から見ようと次の旅行の想像をしながらベッドに入り、夜をスキップした。

ベッド近くのスマホには名古屋のおすすめスポット 10 選というサイトが映っていた。